

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

婦人科悪性腫瘍における体腔液細胞診の形態学的検討に関する研究

1. 研究の対象

2013年1月1日 から 2024年6月30日 までの間に、当院産婦人科で婦人科腫瘍と診断され手術および体腔液の病理学的検査・診断を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2029年6月30日 まで

3. 研究目的・方法

目的：下記の試料・診療情報等を利用し、当院において婦人科腫瘍の治療を受けられた方で、体腔液中に出現する腫瘍細胞と予後に関連する因子を解明することを目的とした研究を実施するため、研究者が診療情報をもとにデータを集積し、婦人科領域の病理学的診断能の向上に寄与する検討を行います。

方法：この研究に使用する試料・診療情報として、すでに保存されている項目4に記載する検体等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：病理細胞診標本、病理組織診標本
- ・ 情報：診断名、年齢、手術進行期、治療経過、病理学的所見（細胞診・組織診）

5. 情報の提供先・提供方法

他の研究機関への情報の提供はありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：6563）

研究責任者 病理診断科 梶原 博

問い合わせ担当者 診療技術部病理検査技術科 萩原 範子